

上末吉交差点に右折信号設置へ

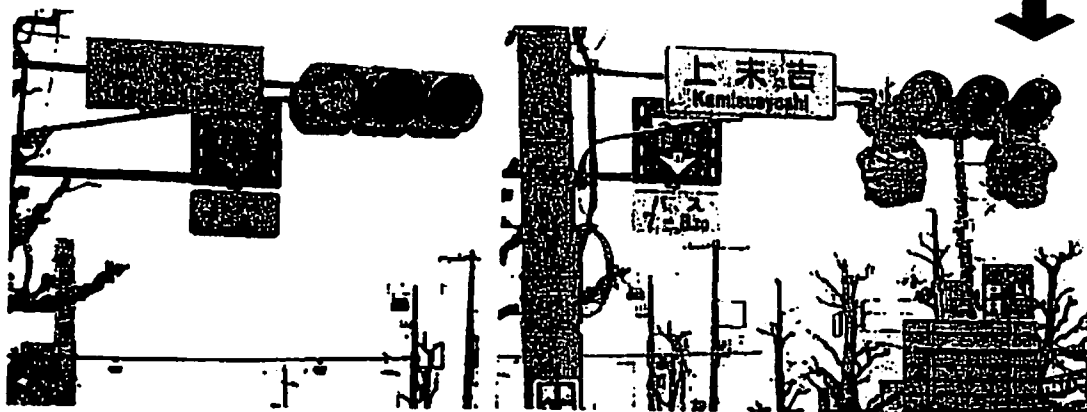
《末吉地域の安全・安心に一步前進》

「どうして右折信号がないの?」「上末吉小学校の児童の通学路なので横断中の危険を回避するためにも右折信号を!」等々の声に
 応えて、鈴木県議・まきしま市議が立ち上がった。この交差点は、末吉橋、鶴見駅、港北区の樽町そして新横浜方面の四方面からの車
 が交差する、鶴見区内でも非常に交通量が多い上末吉交差点。この上末吉交差点、末吉橋から新横浜方面、また新横浜方面から末吉橋
 に向かう信号には右折を示す矢印信号があるが、鶴見駅方面から港北区の樽町に、またその
 反対方向、港北区の樽町から鶴見駅方面に向かう信号には右折信号がなく、長い間、地域の方々のみならず多くの区民より右折信号の設置が望まれていた。

上末吉小学校の先生方、PTA会長はじめ学校関係者、そして自治会関係の皆様のご尽力が大きな後押しとなり、長年の悲願であった右折信号が本年(平成十八年)三月中旬に設置されることとなり、関係者に喜びの声が上がっている。

改善前

改善後



右折矢印信号機が設置され上末吉交差点。「これで横断もひと安心」
(開設式前のため、カバーが掛けられたままです)



横山上末吉小PTA会長(左から2人目)と藤本校長(同3人目)に信号機設置の報告をする鈴木県議・まきしま市議(1月31日上小校長室で)

この右折信号が設置されることにより、上末吉小学校の通学路でもある上末吉交差点の横断がより安全になり、児童、関係父母の皆様、地域の方々、また、この交差点を通行する方々、にとつても朗報となる。

鈴木県議・まきしま市議は、「今回の、右折信号の設置は仮の処置として、今後現在の道路を拡張して三車線にし、より安全・安心の交差点を目指して関係部署へ働きかけていきたい」と決意を新たにしている。